

- 団体名:特定非営利活動法人 循環型社会推進センター
- 所在地:〒960-8061 福島市五月町 4 番 25 号
福島県建設センター6階
- TEL:024-524-2500
- FAX:024-524-2450
- E-mail: qquu8ww9k@mist.ocn.ne.jp
- URL: <http://npo-junkan.jp/>

以下は 11 月 29 日(水)福島会場でのプレゼン資料です

特定非営利活動法人循環型社会推進センター ちいきの茶の間“ふるさと”



発表者：飛田祐子／渡辺仁美

●設立のきっかけ

高齢化に伴い介護が必要な高齢者や、介護する家族に対して、主婦の小さな力で何か手助けができないか...
「おたがいさま」の助け合いができる地域づくりを目指し立ち上げたのがきっかけです。

●団体の目的

蓬萊地域にお住まいの高齢者を対象とし、自立した生活が出来るようにするための手助けや、介護保険適用外のサービスを提供することで地域福祉の向上を目的としています。



私たちの思い、考え

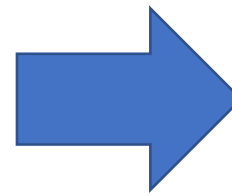
■地域の課題

～蓬萊団地において～

- ・高齢化により自立した生活が出来ない

例えば.....

- ・一人で病院に行けない
- ・一人で買い物が出来ない
- ・家事が出来ない



●目指す地域の

地域で情報の共有化

孤独死が数多く報じられている中で、
孤独死を防ぐため地域包括センター・
民生委員と連携を図り、身近で気軽に
サービスを提供できる場所を作ってい
きたい。

困った時、身近で助け合いができる地
域社会を目指していきたい。

活動紹介

- ・病院送迎
- ・配食サービス
※毎日の配食により利用者の様子を確認している
- ・デイサービス
- ・サロン開設(手芸教室・健康麻雀)
- ・子育て支援
- ・イベント(BBQ・クリスマス等)
- ・フリーマーケット
- ・家事手伝い
- ・庭木の手入れ



地域、住民、ボランティア 参加者の反応や変化

・ボランティアスタッフの声

私達 主婦の集まりが、ご近所の困っている方へ
よりよいサービス提供が出来るよう
勉強しながら経験を重ね、親身に対応している。
興味を持って、継続したボランティア活動になら
ず、人材不足となっている。



・利用者の声

身近に家族がいないため、何かと困った時はふるさとに連絡できとても安心。
自宅で一人の時間が多く ふるさとに来れば利用者、スタッフと会話ができとても楽しみ。

手芸教室
健康麻雀
の様子



年に数回
イベントを開催



協働に向けて

活動・組織での悩み

(1) 人材不足

利用者の病院送迎は、1日に何件も重なり、受診付添となると、時間も要し複数のスタッフがいないと対応できない。
(多いときは1日7件もの送迎がある)

(2) 設備が不十分／食材の経費

戸建の空き家を借りて活動しているが、介護用設備が充実していないため提供できるサービスに限りがある。(お風呂含め手すり・すべり止めの設置が必要)
配食に必要な食材の値上がりにより、経費も膨らんでいる。対策として、安売りの時にまとめ買いをしているが、保管する場所や冷蔵庫にも限りがある。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

(1) ボランティアスタッフ派遣

活動に賛同した企業の職員がボランティアに参加できるよう企業から周知してほしい。

(2) 設備や材料の協力

不要になった介護用品等の提供(手すり・ステップ等)
売れ残りや大量生産、賞味期限が近く廃棄となる食材等の提供をお願いしたい。

(3) 広報協力

パンフレット等を置いていただく等 広報の協力。
利用者が作った手芸品等の販売協力。
※古着を再利用した布ぞうり、つるし雛を海外へ贈答したこともある



企業に向けてメッセージ

地域福祉の向上を目的に、主婦の集まりからスタートし、12年かけてようやく「困った時は“ふるさと”に助けてもらおう！」と、知名度も上がり、地域の方々から信頼していただけるようになりました。福島市内でこのような活動をしているのは“ふるさと”だけです。今後介護保険制度改正によりふるさとの活動がより人々の役に立てることと存じます。活動内容に賛同していただける企業様と、まずは繋がりを持たせていただき、将来的に協働事業として、より暮らしやすい地域社会を共に目指していきたいと考えております。企業の皆様には活動へのご理解とそしてご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。